

News Release

平成 27 年 10 月 13 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

「DBJ・JTBF アジア 8 地域・北海道観光に関する訪日外国人の意向調査（平成 27 年版）」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、このたび「DBJ・JTBF アジア 8 地域・北海道観光に関する訪日外国人の意向調査（平成 27 年版）」と題したミニレポートを発行しました。

DBJでは、平成24年より継続的に、アジア8地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施していますが、本年においては、公益財団法人日本交通公社（JTBF）と共同で調査を行いました。

DBJ北海道支店では、この調査結果を踏まえ、北海道観光に対する訪日外国人の認知度、訪問意欲、期待等に関する内容をミニレポートとして整理しました。

調査結果の特徴としては、以下の 3 点が挙げられます。

- (1) アジアにおける北海道ブランドの高さは、引き続き日本の観光地の中でトップレベルであり、道内観光地（「札幌」「函館」「帯広/十勝」「ニセコ」「知床/阿寒」について調査）の中では、「札幌」「函館」に対する訪問意欲が日本の観光地の中でも上位にあること。
- (2) 北海道訪問意欲のある外国人旅行者は、「自然・景観」「食」「雪」「温泉」への期待が高いこと。また、実際に北海道を訪れた外国人旅行者の「温泉」に対する満足度は全国に比べて高く、調査対象地域によって、眺望や泉質・効能など温泉に対する関心に違いが見られること。
- (3) 北海道旅行中には通信手段として「無料 Wi-Fi」を利用した観光客が多く、また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）には「自然・景観」や「食」などの内容を投稿していること。

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（北海道）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/hokkaido/>）に掲載していますのでご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

北海道支店 企画調査課 電話番号 011-241-4117